

作業所日記

作本 美紀

2月に入り、朝は気温が一桁台まで下がり、外の水道が凍結するほど厳しい寒さが何日もあり、吐く息が白く、体が凍えるような朝が多くありました。2月8日には関東でも積雪があり、翌9日の朝には足元の安全が心配されましたが、出勤時には歩道の雪もほとんど溶け、メンバーさん達はいつも通り元気にそして安全に通所することができました。畑は一面真っ白な雪景色となり、普段とはまったく違う光景が広がりました。休憩時間には、積もったふかふかの雪で毛利



さん・Aさん・依田さんと一緒にミニ雪だるまを作りました。「冷たいね」と言いながら雪に触れるメンバーさんの表情はとても柔らかく、自然と笑顔が見られました。久しぶりの雪遊びに、童心に返ったように夢中になりました。白井さんは「雪合戦したいね!」と目を輝かせ、雪を丸めて誰もいない場所に勢いよく投げており、その姿がとても微笑ましかったです。安全に配慮しながら、いつかはもっと大きな雪だるまや、みんなで雪合戦を楽しめたらいいですね。メンバーさんが行き来する場所では、滑らないように遼さんがほうきで丁寧に雪かきをしてくださいました。普段から掃き掃除をしているため、その手つきはとても手慣れたものです。ハウス内では、春先に向けた作業が着々と進んでいます。ペチ

ュニアやマリーゴールドのポット上げ、ロベリア等のサイズアップ、土のコケ落とし、花ガラ摘みなど、植物の成長を支えるため日々の手入れは欠かせません。外では、落ち葉を発酵させている山に新しい落ち葉を足し、一輪車での運搬やフォークを使って混ぜるなどと体力を使う作業も行っています。「10回混ぜたら一度手を休める」といったように、無理のないペースを意識しながら、声を掛け合って協力して取り組んでいます。寒さの中でも、公園清掃やコンビニ・幼稚園の花壇の手入れなどの外作業は続いています。「行ってきます!」と元気に声を掛けて出発するメンバーさん達。戻ってきた際には、室内に居たメンバーさんから「お疲れさま!寒かったですよ?」と労いの言葉が自然と交わされ、働く中でお互いを思いやる気持ちは大切ですね。



12月～2月は畑作業が落ち着く時期なので、半日は内職の日も増えました。菓子箱折りや引き出物のセット、検尿セット、缶バッチやスマロイド封入作業など、新しい作業も次々として入ってきています。ネームホルダーの紐結びは「1cm幅」と決められており、集中力と正確さが求められる細かな作業です。メンバーさん達は手慣れたペースで一つひとつ丁寧に仕上げています。

これからは花粉の時期に入り、花粉症の人にとっては辛い季節になりますが、マスク着用や手洗い・うがいを心がけ、近づく春を楽しみにこれかも無理のないペースで取り組んでいきましょう。

芦ヶ久保 遠足 ♡氷柱といちご狩り♡



2月13日、芦ヶ久保（埼玉県秩父郡横瀬町）の氷柱見物といちご狩りに行ってきました。何年か前（いつだったかなあ？）一泊旅行で奥秩父の「三十槌の氷柱」を見に行きました。三十槌は、岩肌にしみでる湧水が創り上げる高さ約8m、幅約30mにもなる大規模な氷のオブジェで天然です。今回行った芦ヶ久保は幅約200m、高さ約30mにもなる壮大な氷の芸術です。厳しい冬の寒さと地元の方々の努力によって創り出される人工的なものです。バスから降りて、氷柱の会場にたどり

着くと、目の前に様々な形をした白い大きな壁が……。みんな「おお～！！すご～い！」と感嘆の声。よく見ると木や枝の形によって、丸みを帯びた形や細い剣のような形、様々な形があります。斎藤さんや越智塩谷さんは「この形すご～い！おもしろ～い！」と歓声を上げています。すぐそばまで行けるので、大山さんは氷に触ってみました。前週



の土曜日（7日）はこの冬一番の寒さ。7

日に池田が一人下見に行ったのですが、氷柱の近くはさらに寒く写真を撮る手がかじかんでしまい、職員みんなに手袋必須！当日朝手袋を持っていない人には、作業所で使っている手袋を貸してください！と言っていました。当日はとても暖かく、全く寒さを感じることなく過ごせました。その後氷柱入り口のすぐ近くのお店で、あらかじめそれぞれ自分が食べたいものを選んでいた定食弁当をいただきました。



その後いちご

狩りへ！さっきお弁当を食べたばかりですが、いちごは別腹！とても大きくて甘いいちごを、本当にたっぷり頂きました。イチゴが苦手な毛利さんは、真っ赤なイチゴを見つけては「これ！」と言って上手に摘んでくれ、池田がありがたく、たくさんいただきました(*^*)v お天気も良く、目に映る景色もいちごも大満足な一日でした。また、楽しいところに行きましょうね。（池田）



あしの家だより



【西新井ホーム】

火ノ川 美清子

あっという間の2月。立春といえまだまだ寒く雪も降り、いつまで寒さが続くのだろうと思っていたら、月末には急に20度を超える日があり、服装の準備に困りあたふたしました💦 今月はまず、作業所で「お餅つき大会」がありました。つきたてのお餅はとてもおいしかったようです。たくさん食べた1週間後健康診断がありました。朝から順番に採尿して、朝ごはんを食べず我慢をして挑みます。明久さん何度も「朝食は？食べない？」と確認していました(´_ゝ´) きっとお昼ご飯は美味しく食べられたでしょうね😊

そして次の日は遠足に行きました！芦ヶ久保の氷柱を見ていちご狩り🍓 メンバーさんからは、氷柱の話よりもイチゴの話ばかり。おいしかった！甘かった！大きかった！と。どれくらい食べられたか聞くと、和也さん「5個食べました」 明久さんは「10個食べました」、仁さん「いっぱい食べた」、勝さん「10個以上食べました」裕さん「いちご食べたー」（本当はそんなちょっとの数ではなかったようです(^_-)-☆）個々に満足できる量を食べてきたみたいです(*´`*)♡ 季節の変わり目で、鼻水が出たり、咳が出たりと少し体調を崩すメンバーも居ましたが、さほど酷くならず済みました。

私は最近全然遠出できておらず…。どこかいい所ないかなと模索する日々です。

これから寒暖差や花粉症で、メンバーの体調管理にもいつも以上に気をつけて、日々元気に過ごせるよう取り組んで行きたいと思います。

【西伊興ホーム】

後藤 まさ子

ずっと乾燥続きで、1月はほぼ雨が降らなかったのですが、2月に入って雪が降った日もあり、少しだけ空気が潤った時もありました。作業所では5日に餅つきがあり、皆さんでついた餅をお昼に食べたとのこと。その日一番にホームに帰ってきた花田さんは、開口一番「お餅食べましたー」と教えてくれました。メンバーさん全員が「おいしかった」と言っており、お雑煮をおかわりした人もいたそうです。11日は、安部さんと田沢さんがグランファミリアへ出かけ、パレソンのお菓子を手作りし持ち帰り、他のメンバーさんに分けてあげていました。12日は午前中に健康診断があり、皆さん朝食抜きでしたが、仕事を頑張って帰ってきました。そして13日は秩父へ遠足。いつもより少し早く起きて準備をしました。つららを見た後、お昼は自分で選んだメニューの定食を食べ、そのあとイチゴ狩りを楽しんだそうです。皆さん口を揃えて「イチゴおいしかった」と言っていました。普段と違う場所に行き、おいしいものを食べ、リフレッシュできましたね。28日は安部さんのお誕生日です。おめでとうございます！

色々行事もあったなか、皆さん体調を崩すことなく過ごすことができ良かったです。今後も油断することなく、寒暖差に注意し、衣服の調節にも気をつけていきたいと思います。

< 今月の花売り情報 >

3月 5日(木)・17日(火)・25日(水) 竹ノ塚センター

3月11日(水) ビッグ・エー花畑店

3月12日(木) ベルクス南花畑店

3月18日(水) ビッグ・エー南花畑店

3月19日(木) ベルクス古千谷

3月28日(土)・29日(日) 「舎人公園 千本桜まつり」

4月 4日(土)・5日(日) 「都市農業公園 春の花まつり」

恒例！お餅つき大会



2月5日（木）葺の会作業所恒例の「お餅つき大会」を行いました。本づきに入る前にコネを行います。今年は松村さんが活躍してくれました。秋葉さんとの息も合い、しっかりとこねていきます。特筆すべきは増田さんもコネに参加してくれました。なかなかこの役割を女性が担うことは少ないのですが、松村さんが疲れた時に替わって頑張ってくれました。本づきに入ると、さすがに毎年行っているの、皆慣れたものです。池田が返しを行うタイミングも取りやすく、軽快におもちをついていきます。中でも、やはり84歳の村田さんでしょう。これぞ「昔取った杵柄（きねづか）」リズムよく、力強くついていきます。「さすが！」という声

が！」という声皆からかけられ、とてもうれしそうにしてくださいました。厨房内では5人のお母様方が野菜たっぷりのお雑煮、黄な粉・あんこ・からみ餅・いそべと手際よくどんどん作ってくださいます。



出来上がったらみんなで「いただきます〜す」「おいしいね

〜、柔らかいね」と言いながら、テーブルの上に置かれたお皿からどんどんお餅はなくなっていき、その後今度はお雑煮のお代わりに列ができました。お手伝いに来てくださったお母様方、ありがとうございました。無事、美味しく楽しく食べることができました。美味しいお餅をいただいたので、今年一年また頑張れます。さー！みんなお餅のように、柔らかく粘り強く頑張りましょうね(*^_^*)（池田）

編集後記

気温が10℃も乱高下する毎日。三寒四温とはいえ寒過ぎる！温過ぎる！早く穏やかな気候になって欲しいものです。さて、気温差も激しいですが、先月の衆議院議員選挙の結果は・・・。その後起こっている（起こしている？）事態に、不安と憤り。殺傷能力のある「武器」の輸出を原則可能にする提言が出され、外国から来られている人たちに対する対応を、共生と言いつつも、日本人の生活を守る！などと言って、共生からほど遠くなるような政策が出されている。この欄で書くには大きなことが、十分に話し合うこともなく、進められようとしている。そして世界は、ロシアとウクライナの問題も全く解決の糸口が見つからないまま、今後はアメリカとイスラエルがイランを突如攻撃した。核兵器開発を阻止するためと言う理由らしいが・・・。戦争で、暴力で問題は解決するはずもないことは歴史が証明しているではないか！ 普段であれば一人一人が事件事故でなくなっても大きな問題となるのに、戦争となると急に何百人、何千人という数になってしまう。一人一人大事な命であり生活があったのに。どの国の人も、どんな人も一人一人の大事な命である。とにかく、武力による問題解決はやめるよう、そして自分たちはそんなことに加担したくないと言い続けよう。ここで今上映中のインド映画「ツーリストファミリー」を紹介します。スリランカからの難民問題を背景にしながらも、インド映画らしく楽しいダンスあり、ユーモアを交え、見る人の心を温かくする作品です。どこの国の人かではなく、その人として関わっていくことの大切さ、善意の連鎖が描かれ、見終わった後拍手が起きました。まだ上映が始まったばかりなので、機会があれば、ぜひ観てください。さあ、春に向かって頑張っていきましょう\(^o^)/（池田）